

平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年5月15日  
東

上場会社名 株式会社エスクリ  
コード番号 2196

上場取引所

URL <http://www.escrip.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
兼最高執行責任者 (氏名) 渋谷 守浩

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 吉瀬 格 (TEL) 03-3539-7654

定時株主総会開催予定日 平成30年6月20日 配当支払開始予定日 平成30年6月5日

有価証券報告書提出予定日 平成30年6月20日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の連結業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	31,700	7.5	1,950	45.2	1,830	49.5	665	△6.6
29年3月期	29,477	12.4	1,343	60.1	1,224	55.5	713	98.2
(注) 包括利益	30年3月期		666百万円(△6.7%)		29年3月期		713百万円(99.7%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	55.72	55.63	10.7	6.8	6.2
29年3月期	59.89	59.73	12.7	4.8	4.6

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 ー百万円 29年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	27,104	6,479	23.9	540.61
29年3月期	26,560	5,945	22.4	497.49

(参考) 自己資本 30年3月期 6,475百万円 29年3月期 5,937百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	1,826	△2,098	△855	4,568
29年3月期	3,253	△1,147	△361	5,695

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00	143	20.0	2.5
30年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00	143	21.5	2.3
31年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00		13.7	

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	33,300	5.0	2,150	10.3	2,050	12.0	1,050	57.7	87.66

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

30年3月期	11,979,000株	29年3月期	11,935,500株
30年3月期	652株	29年3月期	652株
30年3月期	11,949,597株	29年3月期	11,908,844株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成30年3月期の個別業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	24,535	7.0	1,783	63.6	1,678	67.7	830	42.6
29年3月期	22,939	17.0	1,089	78.2	1,001	71.1	582	103.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期	69.46		69.34					
29年3月期	48.88		48.76					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
30年3月期	21,792	6,316	6,316	29.0	527.03			
29年3月期	21,935	5,611	5,611	25.5	469.48			

(参考) 自己資本 30年3月期 6,312百万円 29年3月期 5,603百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、平成30年5月15日に当社ウェブサイトに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、施設のスタイルにこだわらず、東京23区及び政令指定都市を中心とした利便性の高い場所で挙式・披露宴施設を運営する当社の他、地方などの新たな地域でブライダル事業を運営する株式会社エスクリマネジメントパートナーズ、並びにグループ内における挙式・披露宴施設等の内装工事を請け負う株式会社渋谷を主軸にグループ経営を推進する体制を強化し、連結業績の最大化に向け継続して取り組んでおります。

当連結会計年度における当社グループは、主たる事業であるブライダル関連事業において、他社とのタイアップキャンペーンなどを実施することで、反響・来館数が好調となり業績が堅調に推移したほか、業務効率化に伴う生産性の向上により販売費及び一般管理費が減少いたしました。一方で、一部事業所において減損損失を認識し、当連結会計年度の業績は、売上高31,700百万円(前期比7.5%増)、営業利益1,950百万円(同45.2%増)、経常利益1,830百万円(同49.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益665百万円(同6.6%減)となりました。

#### (ブライダル関連事業)

前連結会計年度に東京都港区六本木に開業した直営の挙式・披露宴施設1施設の業績貢献に加えて、既存施設の業績が堅調に推移したほか、当期6月にさいたま新都心に開業した施設も業績貢献いたしました。

また、他社とのタイアップキャンペーンなどの効果による反響数の増加に加え、業務効率化に伴い生産性が向上したことにより、ブライダル関連事業の売上高は27,289百万円(前期比5.7%増)となり、セグメント利益は3,125百万円(同20.6%増)となりました。

#### (建築不動産関連事業)

受注状況は概ね良好であり、業績は計画通り安定的に推移いたしました。建築不動産関連事業の売上高は4,410百万円(前期比42.2%増)、セグメント利益は229百万円(同27.1%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産総額は27,104百万円となり、前連結会計年度より543百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が1,136百万円減少したこと、完成工事未収入金が536百万円増加したこと、販売用不動産が572百万円増加したこと、敷金及び保証金が266百万円増加したこと、繰延税金資産(固定)が223百万円増加したこと等によるものであります。負債総額は20,624百万円となり、前連結会計年度より10百万円増加しております。これは主に、短期借入金が400百万円増加したこと、1年内返済予定を含む長期借入金が1,070百万円減少したこと、その他流動負債が425百万円増加したこと、資産除却債務が335百万円増加したこと等によるものであります。純資産は6,479百万円となり、前連結会計年度より533百万円増加しております。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益665百万円を計上したこと、配当を143百万円実施したこと等によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は4,568百万円となり、前連結会計年度より1,129百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1,826百万円(前連結会計年度は3,253百万円の収入)となりました。その主な内訳は税金等調整前当期純利益1,164百万円、減価償却費1,649百万円、売上債権の増加額754百万円、たな卸資産の増加額667百万円、仕入債務の増加額875百万円、法人税等の支払額626百万円があったこと等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は2,098百万円(前連結会計年度は1,147百万円の支出)となりました。その主な内訳は有形固定資産の取得による支出1,787百万円、敷金及び保証金の差入による支出305百万円があったこと等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は855百万円(前連結会計年度は361百万円の支出)となりました。その主な内訳は短期借入金の純増額400百万円、長期借入れによる収入2,050百万円、長期借入金の返済による支出3,030百万円、リース債務返済による支出74百万円、配当金の支払による支出143百万円があったこと等によるものであります。

### (4) 今後の見通し

当社グループの事業を取り巻く環境は不透明な状況が続くと予想されますがグループとしての力を一層発揮するための体制、仕組み作りをすすめてまいります。

主力のプライダル関連事業においては、多様化する顧客ニーズの変化を的確に捉え、顧客である新郎新婦や列席されるゲストに対する「施設の貸し切り感」「オリジナル感」の演出を重視した、オーダーメイド型の婚礼サービスを提供する挙式・披露宴施設の出店を継続するとともに、引き続き集客媒体の多様化を推進、グループ内の連携による内製化の強化、事業規模の拡大に応じた人材の確保と育成及び内部管理体制の充実に取り組み、一層の業績向上に努めてまいります。

次期の見通しにつきましては、当連結会計年度に開業したさいたま新都心の1施設が通期稼働し、広島県広島市に1施設、東京都渋谷区に1施設、計2施設を新規開業する予定です。

以上により、次期の連結業績の見通しについては、売上高33,300百万円(前期比5.0%増)、営業利益2,150百万円(同10.3%増)、経常利益2,050百万円(同12.0%増)と予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を採用することとしておりますが、海外事業展開の進展状況のほか、国内外の動向も踏まえながら、IFRS適用に関する検討をすすめてまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,940,316	4,804,263
受取手形及び売掛金	439,032	540,101
完成工事未収入金	128,421	664,691
販売用不動産	742,672	1,315,043
商品及び製品	69,944	206,787
原材料及び貯蔵品	91,717	93,412
未成工事支出金	344,367	152,256
繰延税金資産	184,970	189,616
その他	608,952	1,003,337
貸倒引当金	△24,422	△32,032
流動資産合計	8,525,973	8,937,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,223,828	10,279,810
工具、器具及び備品(純額)	655,878	717,119
土地	938,066	917,166
リース資産(純額)	802,942	722,682
建設仮勘定	710,593	481,626
その他	26,417	43,801
有形固定資産合計	13,357,726	13,162,206
無形固定資産		
のれん	155,033	17,482
その他	199,423	135,891
無形固定資産合計	354,457	153,373
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,373,435	3,639,635
繰延税金資産	650,877	874,107
その他	328,003	368,465
貸倒引当金	△30,300	△31,211
投資その他の資産合計	4,322,016	4,850,997
固定資産合計	18,034,200	18,166,578
資産合計	26,560,173	27,104,055

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,471,821	1,543,153
短期借入金	—	400,000
1年内返済予定の長期借入金	2,973,891	2,706,930
未払金	1,454,116	1,267,497
前受金	1,424,974	1,518,399
未払法人税等	414,894	497,477
その他	2,073,030	2,498,161
流動負債合計	9,812,728	10,431,619
固定負債		
社債	510,000	450,000
長期借入金	7,512,876	6,709,722
リース債務	773,977	699,951
資産除去債務	1,949,180	2,285,052
その他	55,741	48,191
固定負債合計	10,801,775	10,192,917
負債合計	20,614,504	20,624,537
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	594,639	606,132
資本剰余金	552,639	564,132
利益剰余金	4,789,285	5,304,131
自己株式	△187	△187
株主資本合計	5,936,377	6,474,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,125	3,078
為替換算調整勘定	—	△1,697
その他の包括利益累計額合計	1,125	1,380
新株予約権	8,166	3,927
純資産合計	5,945,668	6,479,517
負債純資産合計	26,560,173	27,104,055

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	29,477,263	31,700,236
売上原価	12,529,608	13,901,086
売上総利益	16,947,655	17,799,150
販売費及び一般管理費	15,604,565	15,849,146
営業利益	1,343,089	1,950,003
営業外収益		
受取補償金	28,702	—
受取保険金	—	15,887
その他	21,552	21,535
営業外収益合計	50,255	37,423
営業外費用		
支払利息	118,339	95,149
支払手数料	18,089	17,662
金融手数料	18,923	19,283
その他	13,759	24,579
営業外費用合計	169,112	156,674
経常利益	1,224,232	1,830,753
特別利益		
新株予約権戻入益	3,861	445
特別利益合計	3,861	445
特別損失		
減損損失	116,472	659,728
子会社株式売却損	—	6,492
その他	8,820	—
特別損失合計	125,292	666,221
税金等調整前当期純利益	1,102,801	1,164,977
法人税、住民税及び事業税	570,723	725,409
法人税等調整額	△181,127	△226,287
法人税等合計	389,596	499,121
当期純利益	713,204	665,855
親会社株主に帰属する当期純利益	713,204	665,855



## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益	713,204	665,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	362	1,952
為替換算調整勘定	—	△1,697
その他の包括利益合計	362	255
包括利益	713,567	666,110
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	713,567	666,110

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	584,979	542,979	4,200,947	△187	5,328,719
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	9,660	9,660			19,320
剰余金の配当			△124,867		△124,867
親会社株主に帰属する当期純利益			713,204		713,204
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	9,660	9,660	588,337	—	607,657
当期末残高	594,639	552,639	4,789,285	△187	5,936,377

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	762	762	21,188	5,350,670
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				19,320
剰余金の配当				△124,867
親会社株主に帰属する当期純利益				713,204
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	362	362	△13,022	△12,659
当期変動額合計	362	362	△13,022	594,998
当期末残高	1,125	1,125	8,166	5,945,668

当連結会計年度(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	594,639	552,639	4,789,285	△187	5,936,377
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	11,493	11,493			22,986
連結範囲の変動			△7,737		△7,737
剰余金の配当			△143,272		△143,272
親会社株主に帰属する当期純利益			665,855		665,855
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	11,493	11,493	514,846	—	537,832
当期末残高	606,132	564,132	5,304,131	△187	6,474,210

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,125	—	1,125	8,166	5,945,668
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					22,986
連結範囲の変動					△7,737
剰余金の配当					△143,272
親会社株主に帰属する当期純利益					665,855
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,952	△1,697	255	△4,239	△3,983
当期変動額合計	1,952	△1,697	255	△4,239	533,848
当期末残高	3,078	△1,697	1,380	3,927	6,479,517

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,102,801	1,164,977
減価償却費	1,528,254	1,649,488
減損損失	116,472	659,728
のれん償却額	72,472	60,551
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26,230	12,224
子会社株式売却損益(△は益)	—	6,492
受取利息及び受取配当金	△2,284	△1,266
受取補償金	△28,702	—
受取保険金	—	△15,887
新株予約権戻入益	△3,861	△445
支払利息	118,339	95,149
金融手数料	18,923	19,283
支払手数料	18,089	17,662
売上債権の増減額(△は増加)	271,662	△754,784
たな卸資産の増減額(△は増加)	△444,833	△667,872
未成工事支出金等の増減額(△は増加)	△243,344	192,111
仕入債務の増減額(△は減少)	△349,123	875,246
前受金の増減額(△は減少)	239,049	93,425
未払金の増減額(△は減少)	217,121	△101,283
未成工事受入金の増減額(△は減少)	374,853	△198,294
未払消費税等の増減額(△は減少)	313,731	△324,347
その他	217,522	△252,061
小計	3,563,375	2,530,096
利息及び配当金の受取額	2,284	1,250
利息の支払額	△119,029	△94,309
法人税等の支払額	△221,720	△626,165
補償金の受取額	28,702	—
保険金の受取額	—	15,887
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,253,612	1,826,760
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△27,337	△22,700
定期預金の払戻による収入	49,206	31,200
有形固定資産の取得による支出	△923,101	△1,787,603
資産除去債務の履行による支出	△11,854	△20,990
無形固定資産の取得による支出	△97,953	△22,194
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	73,213
子会社株式の取得による支出	△10,630	△59,386
敷金及び保証金の差入による支出	△140,005	△305,387
敷金及び保証金の回収による収入	8,544	36,506
その他	5,463	△21,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,147,669	△2,098,832

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	400,000
長期借入れによる収入	2,600,000	2,050,000
長期借入金の返済による支出	△3,292,825	△3,030,115
社債の発行による収入	600,000	—
社債の償還による支出	△40,000	△65,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	16,754	19,192
リース債務の返済による支出	△96,417	△74,704
割賦債務の返済による支出	△480	△463
配当金の支払額	△124,778	△143,192
その他	△24,153	△11,449
財務活動によるキャッシュ・フロー	△361,901	△855,732
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,393	△1,510
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,738,647	△1,129,315
現金及び現金同等物の期首残高	3,956,940	5,695,588
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1,747
現金及び現金同等物の期末残高	5,695,588	4,568,019

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループのセグメントについては、事業の種類別に構成されており「ブライダル関連事業」及び「建築不動産関連事業」並びに「その他の事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ブライダル関連事業」は、直営施設及び提携施設を通じた挙式・披露宴の企画・運営等のブライダルサービス、ホテルスタイルの施設を通じた宿泊サービス、レストランスタイルの施設を通じたレストランサービス、各種パーティーの企画・運営の宴会サービスの提供等を行っております。

「建築不動産関連事業」は、飲食店や小売店を中心とした施設の内外装工事の請負及び設計監理業務、戸建住宅やマンションの建築、コンテナ事業、コンサルティングサービス等を行っております。

「その他の事業」は、web制作・イベントプロデュース事業等を行っていましたが、株式会社ウェブスマイルの全株式を売却したことにより、当連結会計年度より該当事項はありません。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	ブライダル 関連	建築不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,815,938	3,101,038	28,916,977	560,286	29,477,263	—	29,477,263
セグメント間の内部売 上高又は振替高	245	967,078	967,323	18,974	986,298	△986,298	—
計	25,816,184	4,068,117	29,884,301	579,260	30,463,562	△986,298	29,477,263
セグメント利益	2,590,484	180,473	2,770,957	946	2,771,903	△1,428,813	1,343,089
セグメント資産	17,857,947	4,285,330	22,143,278	136,076	22,279,354	4,280,818	26,560,173
その他の項目							
減価償却費	1,411,248	29,897	1,441,146	3,102	1,444,249	84,004	1,528,254
減損損失	96,859	—	96,859	—	96,859	19,612	116,472
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,233,838	10,291	1,244,129	835	1,244,965	37,384	1,282,349

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、web制作・イベントプロデュース事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△1,428,813千円は、未実現利益の調整額16,197千円、のれん償却額△70,545千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,374,466千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額4,280,818千円には、未実現利益の調整額10,855千円、各セグメントに配分していない全社資産4,269,962千円であり、該当全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

(3) その他の項目の調整額のうち減価償却費の調整額84,004千円は未実現利益の調整額△16,197千円、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費100,202千円であり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額37,384千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	ブライダル 関連	建築不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,289,665	4,410,571	31,700,236	—	31,700,236	—	31,700,236
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	1,671,277	1,671,277	—	1,671,277	△1,671,277	—
計	27,289,665	6,081,849	33,371,514	—	33,371,514	△1,671,277	31,700,236
セグメント利益	3,125,112	229,338	3,354,450	—	3,354,450	△1,404,446	1,950,003
セグメント資産	18,324,215	5,668,145	23,992,361	—	23,992,361	3,111,694	27,104,055
その他の項目							
減価償却費	1,560,941	25,182	1,586,124	—	1,586,124	63,363	1,649,488
減損損失	659,728	—	659,728	—	659,728	—	659,728
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	2,136,118	13,812	2,149,931	—	2,149,931	△90,833	2,059,097

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、web制作・イベントプロデュース事業を含んでおりましたが、株式会社ウェブスマイルの全株式を売却したことにより、該当事項はありません。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△1,404,446千円は、未実現利益の調整額△69,623千円、のれん償却額△58,624千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,276,198千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額3,111,694千円には、未実現利益の調整額△49,438千円、各セグメントに配分していない全社資産3,161,132千円であり、該当全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

(3) その他の項目の調整額のうち減価償却費の調整額63,363千円は未実現利益の調整額△16,447千円、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費79,810千円であり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△90,833千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	497.49円	540.61円
1株当たり当期純利益金額	59.89円	55.72円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	59.73円	55.63円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	713,204	665,855
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	713,204	665,855
普通株式の期中平均株式数(株)	11,908,844	11,949,597
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	30,845	20,670
(うち新株予約権)(株)	(30,845)	(20,670)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第12回新株予約権 173個 第13回新株予約権は権利 の放棄を受けたことによ り消滅しております。	第12回新株予約権 168個

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。